

平成26年度市政懇談会 市長説明

【市長挨拶】

本日は、市政懇談会にご出席いただきありがとうございます。

最近は、日本国中で大雨、ゲリラ豪雨が頻発しておりまして、それに伴い災害も多発しております。市としましては早めに情報を得て、市民の皆さんに適切な時期に情報提供していきたいと考えておりますので、皆さんも行政から出す情報について注意深くお聞きいただきたいと思います。

「市長から市政の現状と今後についての説明」

まず、南房総市の財政状況の見通しとしては、大変厳しいものがあります。合併から15年目までは国からさまざまな財政支援が受けられますけれども、16年目からはなくなります。今年度の予算は約240億円で、その内95億円は地方交付税交付金という国からのお金です。地方交付税は、合併による財政支援がなくなる7年後には約25億円が減ることになります。市としましては合併による財政支援が無くなってもしっかりと行政運営がしていけるように、これまでもそうですが、これからも行政のスリム化を進めていかなければいけません。また、それに合わせて市民の皆さまに質の高い行政サービスが提供できるよう作り変えていかなければなりません。スリム化という中では、市民の皆さんにもご不便をおかけしているかもしれません。職員の数も合併当時は約700人おりましたが、平成26年度は約540人となり、合併から8年間で約160名減ったこととなります。職員数を減らすことだけが良いことではありませんが、全国の同規模の自治体と比較して南房総市の職員数はまだまだ多い状況にありますので、もう少し職員数を減らしていく必要があると思っております。

繰り返しとなりますが、南房総市は、今年を含めてあと7年間国からいろいろな財政支援を受けられます。一番大きなものは地方交付税交付金です。それともう一つ合併特例債という有利な借金ができるしくみがあります。おおざっぱに申しますと合併特例債という債券を発行して、発行した金額の7割を国が返済してくれる、元手が3割あればいろいろな事業ができるという有利なものです。ですから私としては、今この時期にやってしまうなければならないもの、今この時期にやってしまうことが市民の皆さんにとって、また、南房総市にとっても有利だと思うことは、できるだけ平成32年度までにやっつけたいと考えております。

現在、このような状況の中で大きな事業のことをいくつか申し上げます。まず、千倉地区で地元の皆さんと協議を進めさせていただいている安房郡市3市1町の共同で建設するゴミ焼却場があります。ゴミ焼却場の総額は約210億円で南房総市の負担も50億円から60億円くらいになります。

し尿処理施設の衛生センターも老朽化しています。現在、外房地区に関しては千倉地区にある施設で、内房地区は鋸南町と共同の施設で鋸南町にある施設で処理をしています。この2つの施設がほぼ同時期に建てられていて、共に老朽化してきております。このような状況ですので、1つの施設への建て替えを検討しており、事業費は約35億円から40億円を見込んでおります。

白浜地区では、老朽化した公共施設を再編しつつ、新たな施設を建設したいと考えており、この事業も数億円かかる予定となっております。

学校の再編では、地域の皆さんにもご理解をいただきながら進めさせていただきたいと考えている丸山地区と和田地区の統合小学校の建設についてです。建てるとなれば数十億円となる見込みです。

この他にも、もろもろございますけれども、有利な財源のあるうちにしっかりと進めていきたいと思っております。

もうひとつ申し上げたいことが市役所の新庁舎建設についてです。私は、平成26年4月に市長として3期目の当選させていただきましたが、その時以来、議会も含めまして「市役所の新庁舎の建設について検討したい。」と申し上げてきております。庁舎を建てると決めただけではございませんが、鉄筋コンクリートの建物の耐用年数は一般的に50年程度と言われております。現在、富浦の本庁舎は建設から35年ほど経っており、あと15年くらい、つまり平成40年頃に耐用年数を向かえます。50年経過したからすぐに使用できなくなる訳ではございませんが、合併特例債という有利な財源があるうちに建設した方が、市民の皆さん、将来の南房総市の財政運営にとって有利になるのではないかと考え、建てるべきかどうか検討しております。

庁舎建設の検討に向け具体的に取り組んでいることは、皆さんがどのような要件で、どのような交通手段で役所に来ているか、本庁、分庁、朝夷行政センター、各地域センターなどすべての施設で1年かけてしっかり調べたいと思っております。その結果、1か所になった場合に、要件を調べることによりどのような行政サービスの方法がいいか、交通手段を調べることにより庁舎の位置はどこがいいかなど検討して行きたいと思っております。いずれにしても、庁舎の問題は、今後の市の財政状況や、市民の皆さんにどのような行政サービスが提供できるのか慎重に検討し、建てるべきか、建てざるべきか、みなさんと議論して考えていきたいと思っております。

最後になりますが、今までもいろいろなところで申し上げておりますが、市民や企業、団体の皆さんの「やる気」「想像力」を高めていけるような市政を展開していきたいということです。全世帯に配布させていただき、また本日の資料にもなっております「今年予算」に経済対策、教育、市民活動の充実など、さまざまな事業を掲載しております。ひとつひとつ説明はいたしませんが見ていただき、この後の、皆さんとの意見交換の中でもご意見をお伺いできればと思っておりますので、よろしく願いいたします。

以上、私からの市政報告を終わります。